

論文の和文要旨

氏名 _____ 和田 博史 _____

(博士論文の題目)

ダリル・シーデントップ (Daryl Siedentop) の体育論の成立と展開

- プレイ体育論とスポーツ教育モデルに焦点をあてて -

(博士論文の要旨)

今後さらに精神的な豊かさが求められている現代社会において、これまで体育授業で展開されてきた「スポーツの中の教育」とは何だったのか整理することは、スポーツ文化を教育する体育教科の在り方に関する議論の基盤を成す。そこで、本研究は「スポーツの中の教育」の1つの代表例に挙げられる「ダリル・シーデントップ (Daryl Siedentop) の体育論の成立と展開 - プレイ体育論とスポーツ教育モデルに焦点をあてて - 」と題して、次の3つの分析の視点に対するシーデントップの見解を明らかにすることを研究課題として設定した。(1) 体育教科の存在意義との関係、(2) 意味と生涯スポーツの教育、(3) 授業改善の方法、この3点に対するシーデントップの見解を明らかにするために、本論文は3章構成となった。

第1章では、1976年のプレイ体育論に焦点をあてて、その成立背景と展開を明らかにして解釈した。第2章では、2011年のスポーツ教育モデルに焦点をあてて、その成立背景と展開を明らかにして解釈した。第3章の第1節では、体育教科の存在意義との関係について概観を踏まえて、プレイ体育論とスポーツ教育モデルの共通点と相違点、変容過程及び展望を明らかにした。第2節では、意味と生涯スポーツの教育についての概観を踏まえて、プレイ体育論とスポーツ教育モデルの共通点と相違点、変容過程及び展望を明らかにした。第3節では、授業改善の方法について概観を踏まえて、プレイ体育論とスポーツ教育モデルの共通点と相違点、変容過程及び展望を明らかにした。

本研究の結果、3つの分析視点に対するシーデントップの見解として次のことが明らかとなった。

(1) 体育教科の存在意義との関係

プレイ体育論は、体育教科の存在意義を示す関係として、「運動による教育」を否定して精神的豊かさをもたらす遊びに基づく意味中心の体育論を提起した。それは、遊びに基づく意味中心の体育論という視点からスポーツ活動における技能や志向性の向上に対して、初めて直接的に教育的価値をもたらした。

一方で、スポーツ教育モデルは体育の授業改善を促進する方法論であり、体育教科の存

様式 3 号

在意義を幅広い視点から向上させる機能を有した。

(2) 意味と生涯スポーツの教育

プレイ体育論は、遊びの性質から学習内容を構成した。一方、スポーツ教育モデルは遊びの性質から学習環境も構成して、みる・支えるスポーツや人間らしさや個性を形成する多様な意味を教育する。なお、スポーツ教育モデルは生涯スポーツに高く貢献することができ、日本で起きた「スポーツの中の教育」に関する論と類似する見解が共存しており、日本でみられた二項対立的な論争の共存可能性を示唆した。

(3) 授業改善の方法

プレイ体育論における授業改善の方法は、体育教師の体育思想に対する幅広い教養を深めさせると共に批判的思考力の向上に力点があった。また、プレイ体育論は、遊びに基づく意味中心の体育論を学校現場で展開できるように、その体育教師像や教師教育プログラムや専門科学についての展望を一貫して描いたものであった。一方、スポーツ教育モデルでは、1) 教育界やスポーツ、フィットネスの社会貢献を含めた俯瞰的な視点、2) 子どもに応じて焦点化された目標を確実に達成させようとする組織的戦略的な方法、3) 体育教師の専門職の確立に貢献すること、といった 3 つの特徴があった。今後の展望は、体育教師が有能なプレイヤーとして楽しんで授業改善できるように、よりプレイフルで文化的な職場環境づくりが求められているといえる。

・ 結論

これまで、日本におけるシーデントップの体育論に関する先行研究は、真正の競争を保障する「スポーツの中の教育」として、体育の説明責任が厳しく問われるようになり、目標の拡大化と体育授業に関する具体像を示すものとして、スポーツ教育モデルが提起されたという 1 面的な理解にとどまっていた。本研究では、遊びに基づく意味中心の体育論と「運動による教育」の理念の融合があった。そして、その実現に向けた戦略的な指導方法論の確立と実証的なスポーツ教育モデル適用の研究成果があったシーデントップの体育論の成立と展開を次のように結論づける。シーデントップの体育論の成立と展開は、人々に最大限精神的豊かさをもたらす遊びに基づいて教育する、1 つの体育教科の存在意義の成立とその実現に向けた体育授業改善に対する挑戦の展開であった。プレイ体育論とスポーツ教育モデルの関係は、シーデントップの体育授業改善を図ってきた一連の体育思想形成史のなかにあって、プレイ体育論はスポーツ教育モデルの中核的な機能を担いながら脈々と受け継がれてきたものであった。